

## 枚方京田辺環境施設組合よりごみ焼却発電事業を受注（DBO方式） ～ 可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業（EPCおよび20年間の運営）～

日立造船株式会社を代表とする企業グループは、このほど、枚方京田辺環境施設組合（管理者：上村 崇 京田辺市長、構成自治体：大阪府枚方市、京都府京田辺市）より、可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業を受注しました。

【完成イメージ図】



本事業は、枚方市の穂谷川清掃工場第3プラント（1988年稼働）および京田辺市の環境衛生センター甘南備園焼却施設（1986年稼働）に代わり、両市が共同で新たな広域ごみ処理施設を建設し、ごみ処理を行うため、2016年に同組合を設立して計画されたものです。

DBO（Design/Build/Operate：設計/建設/運営）方式により設計から建設後の運営までを当社グループが請け負い、効率的かつ効果的な設計・施工および運営・維持管理を行うことで、将来にわたって安全で安定した施設運営を行います。

本事業では、当社グループが提案したエネルギー・資源の有効活用、安定稼働の実現に関する提案や、「2018年度グッドデザイン賞<sup>※</sup>」を受賞した当社開発の「次世代煙突（膜煙突）」によるデザイン計画などが高く評価され、受注に至りました。

新たな施設は、施設の運転に伴い発生する余熱利用による「ごみ発電」を行います。当社は高温高圧ボイラー採用によって発電量の最大化を図ります。発電した電力は場内で利用され、余剰電力は売電されます。

当社は、1965（昭和 40）年に日本初のごみ焼却発電施設を大阪市に納めて以降、グループ累計で国内 500 件以上のごみ焼却施設の建設実績があります。ごみ発電はクリーンエネルギーの 1 つであり、安定電源かつ地産地消の電源としても期待されています。大阪府と京都府に跨る初のごみ焼却施設の建設・運営事業に携わることで、地域循環型社会の形成に努め、時代のニーズに沿った新たな価値を創造してまいります。

なお、本件の概要は以下のとおりです。

1. 発注者：枚方京田辺環境施設組合（管理者：上村 崇 京田辺市長、構成自治体：大阪府枚方市、京都府京田辺市）
2. 事業名：可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業
3. グループ構成：代表企業 日立造船株式会社  
構成員 Hitz 環境サービス株式会社 西日本支社  
K・ネット株式会社  
協力企業 東洋建設株式会社 大阪本店  
株式会社サンエース  
株式会社野原工務店
4. 建設地：京都府京田辺市田辺ボケ谷、甘南備台二丁目地内
5. 施設規模：ストーカ式焼却炉 168 t/日×1 炉
6. 発電出力：4,870kW
7. 事業期間：設計・建設期間 2022 年 2 月 23 日～2026 年 3 月 30 日  
運営期間 2026 年 3 月 31 日～2046 年 3 月 31 日（20 年間）
8. 受注金額：205 億円（税抜き）

※グッドデザイン賞は、公益財団法人日本デザイン振興会が授与するもので、人がなんらかの理想や目的を果たすために築いたものごとをデザインにとらえ、その質を評価・顕彰。「優れたデザイン」を社会に普及させていくことで、私たちの生活をより豊かにすることと、産業の発展を同時に後押ししようとするものです。

（終）